

研推だよりNo. 1



令和4年
4月1日
研究推進部会

1. 研究主題

研 究 主 題 思考したことを、豊かに表現する児童の育成
～ICT機器の効果的な活用を通して～

2. 主題設定の経緯（昨年度の研究から）

①全体会での話し合いから、三小の子たちに足りない力として「学習内容や学習のねらいについて深く考える『思考力』」と、「自分の考えを分かりやすく伝える『表現力』」の2つが見えてきました。



②児童が思考したことは、第三者は「思考」そのものだけをみとることはできず、思考したことはその児童なりの「表現」を介して伝わるものであるから、思考力と表現力を切り離して考えることはできない。（学習指導要領でも、新たに求められている資質・能力の1つとして「思考力・判断力・表現力」は一体として示されている。）



③思考したことを表現する際に、タブレット端末などのICT機器を活用することは児童の考えを表現する可能性を広げる一つ的手段であり、ICT機器を活用した様々な表現方法を学ぶことで紙媒体で表現することの良さもまた見えてくる。



④ICT機器や紙媒体のみならず、目的や自分の意図したことを適切に表現する手段を多様にもっていることは、今後の社会に出ていくうえでも大切な力の一つと言える。

※研推では、この「目的や自分の意図したことを適切に表現する手段を多様にもっている」児童の状態を、表現力が「豊か」と捉えることにした。



⑤以上のことから、研究主題「思考したことを豊かに表現する児童の育成 ～ICT機器の効果的な活用を通して～（案）」を設定した。

<確認事項>

- ・今年度も、特定の教科・領域は設定せず研究を進めていく。
- ・主題に迫る手立てなど、授業に関わる具体的な部分については柱となる手立てを研推で検討したのち、分科会で具体化していく。



3. 研究組織（各分科会）

	担当	分担内容
研究推進部長	水流	校内研究の運営、外部との連携調整
副部長	中島	研推だよりの発行、研究部会予定管理
各分科会	低、中、高、 すずかけ	研究分科会開催、研究提案検討 指導案作成、教材研究、授業準備

4. 研究授業の持ち方

- ① 今年度は ICT を活用した授業改善という点から、特定の教科で授業を行うということはない。研究授業の教科は各分科会で検討し、提案する。
- ② 各分科会から 1 回ずつで**年間 4 回の研究授業（A 授業）**と、A 授業でない方の学年から 1 回ずつ、昨年度までの**ビデオ検討会（B 授業）**を行う。

5. 校内研究日程（予定）

回	日程		内容
1	4 / 1	三部会	部員顔合わせ、研究に関わる年間予定の確認
2	/ 6	三部会	研推内の役割分担、研究内容の検討（研究の手立て等）
3	/ 7	研究全体会	研究主題及び方向性の提案、年間予定の共有
4	/ 27	研究全体会	講師の先生による基調講演？
5	5 / 2	三部会	研究内容の検討
6	6 / 1	研究全体会	研究授業①
7	7 / 4	三部会	
8	/ 6	研究全体会	研究授業②
9	/ 22	三部会	
10	8 / 29	研究全体会	
11	9 / 21	研究全体会	研究授業③
12	10 / 26	三部会	
13	12 / 7	研究全体会	研究授業④
14	1 / 6	三部会	
15	/ 11	研究全体会	（研究授業予備日）
16	1 / 16	三部会	
17	2 / 1	研究全体会	
18	2 / 22	三部会	研究収録内容確認、研究の反省まとめ
19	3 / 1	研究全体会	
20	/ 15	三部会	次年度の研究の方向性の検討
21	/	研究全体会	研究のまとめ、次年度の研究提案